3．調査結果報告

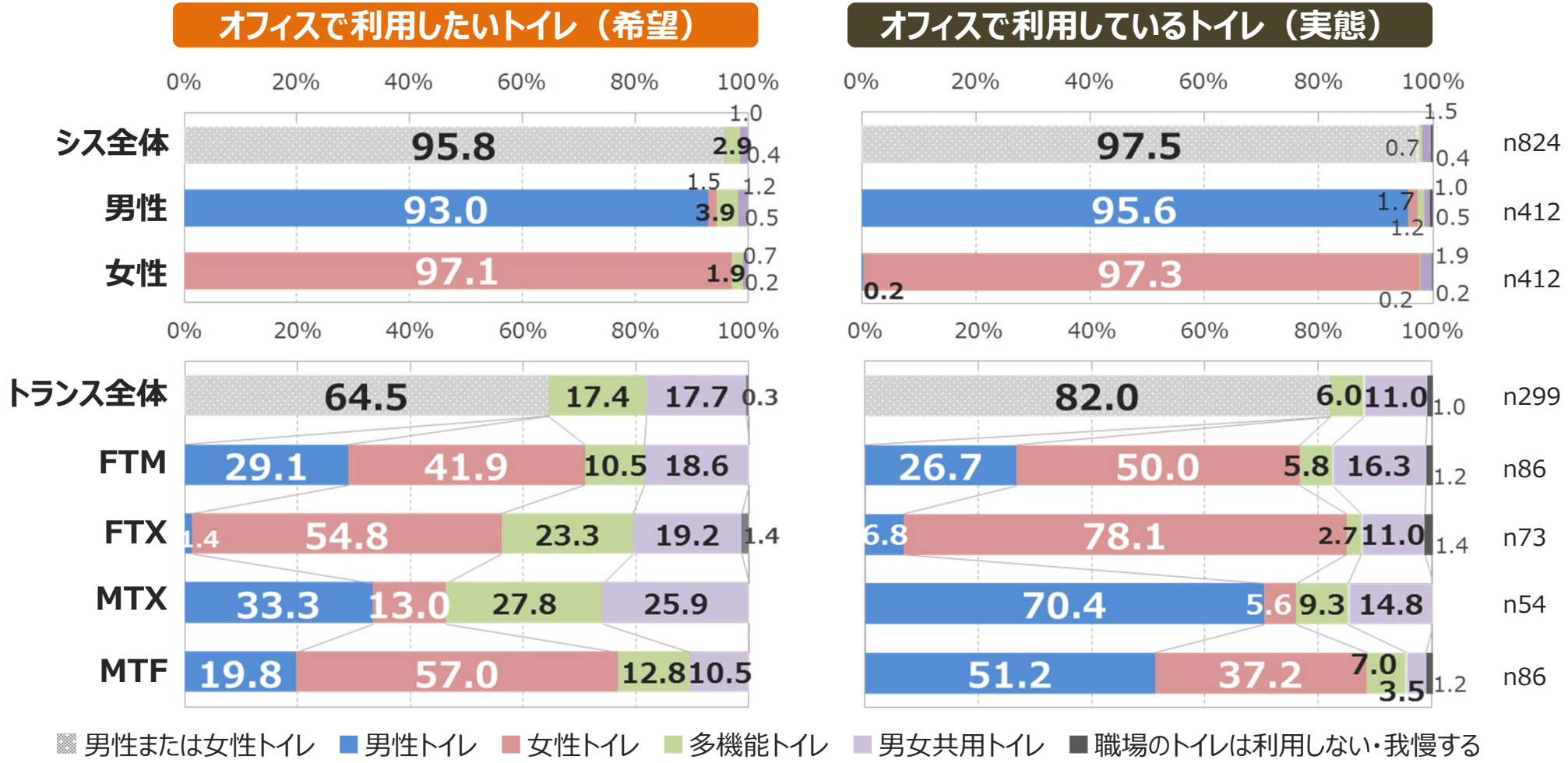
3-2. オフィストイレの利用実態

無断転載禁止　©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

オフィスで利用しているトイレの種類：希望と実態

- 利用したいトイレ（希望）と実際に利用しているトイレ（実態）は、シスはほぼ「男性トイレ」または「女性トイレ」だが、トランスはさまざまである。
- 「男女別トイレ」の利用を希望しているトランスは全体で約6割、ジェンダー別では5～8割とバラつきがある。
- トランスは、「多機能トイレ」「男女共用トイレ」の利用希望がシスよりも高い。

Q.あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？（希望）／現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？（実態）

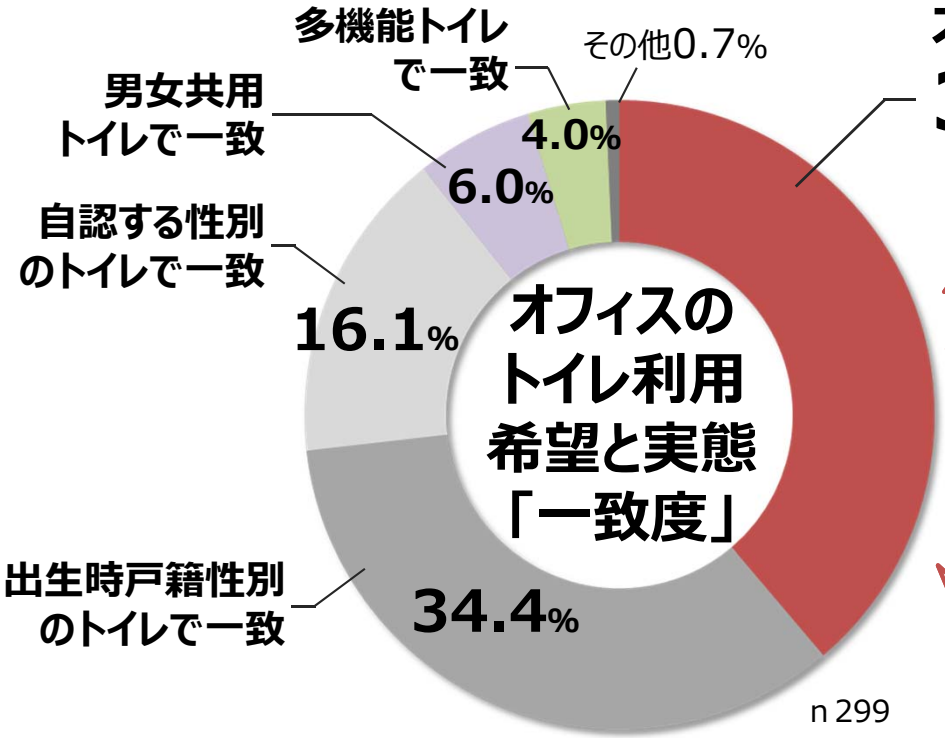


無断転載禁止　©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

オフィスで利用しているトイレの種類：希望と実態の一致度（トランスジェンダー）

- トランスジェンダー全体の4割が、利用したいトイレを利用できていない。
- オフィスで希望するトイレはジェンダーにより異なり、希望と実態が一致する場合でもさまざまなケースがある。
- 「出生時戸籍性別のトイレ」で一致する人、「自認する性別のトイレ」で一致する人の割合は、「職場性別の希望と実態の一致度」（p16参照）とほぼ同じ傾向がみられる。

Q.あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？（希望）／現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？（実態）



一致の合計
61.2%

男性用トイレを利用したいが、戸籍に基づき女性用トイレを利用するよう会社から言われている。（FTM）

自認に沿う女性用トイレを利用したいが、職場ではカミングアウトしていないため、（仕方なく）多機能トイレを利用している。（MTF）

男性として働いているため、男性用トイレを利用している。職場に多機能トイレはあるが、利用する理由を説明できず使えないため、男女共用トイレがあれば利用したい。（MTX）

【トイレ利用の希望と実態について】
※p23【補足：オフィスのトイレ利用“希望”と“実態”の「一致度」凡例について】参照
・出生時戸籍性別のトイレで一致：FTM・FTXでは女性用トイレ、MTX・MTFでは男性用トイレで一致している場合。
・自認する性別のトイレで一致：FTMでは男性用トイレ、MTFでは女性用トイレで一致している場合。
・Xジェンダー用トイレはないため、FTX・MTXの場合は「性自認で一致」はない。
・その他：FTXでは男性用トイレで一致、MTXでは女性用トイレで一致している場合、および「職場のトイレは利用しない・我慢する」で一致している場合。

KANAZAWA UNIVERSITY COMANY LIXIL
無断転載禁止 ©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018
※プライバシー保護のため、吹き出し内の文章は大意を変えずに要約・加工しています。

補足：オフィスのトイレ利用 “希望”と“実態” の「一致度」凡例について

「オフィスのトイレ利用」における “希望” と “実態”の「一致度」について、凡例の説明を以下に示す。

➢ **下記 “希望”と“実態”の各設問に対する回答の一致状況により、分類を行った。**

	設問内容	選択肢（単一回答）
希望	あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？ ※選択肢のトイレが職場にすべてあると仮定	男性用トイレ ／ 女性用トイレ ／ 多機能トイレ 男女共用トイレ（多機能トイレは除く） 職場内のトイレはどれも使わない・我慢する
実態	あなたは現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？	

・出生時の戸籍性別のトイレで一致 ：希望と実態の回答が、FTM・FTXでは女性用トイレ、MTX・MTFでは男性用トイレで一致している場合。

・自認する性別のトイレで一致 ：希望と実態の回答が、FTMでは男性用トイレ、MTFでは女性用トイレで一致している場合。
※Xジェンダー用トイレはないため、FTX・MTXの場合は「自認する性別のトイレで一致」はない。

・不一致 ：希望と実態の回答が一致しない場合。

・その他 ：希望と実態の回答が、FTXでは男性用トイレで一致、MTXでは女性用トイレで一致している場合、および「職場内のトイレはどれも使わない・我慢する」で一致している場合。

KANAZAWA UNIVERSITY GOMANY LIXIL
無断転載禁止 ©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

職場でのカミングアウトの有無との相関についてお断り

ここからのページは、職場でのカミングアウトの有無が、職場のトイレ利用にどのような影響を及ぼすかを調べるために、比較・集計を行っています。

結果の如何に関わらず、職場でのカミングアウトを推奨したり、否定したりしているものではありません。

また、**カミングアウトはあくまでも本人の意思に基づいて行うもの**であり、**決して周囲が強制したり阻んだりするものではありません。**

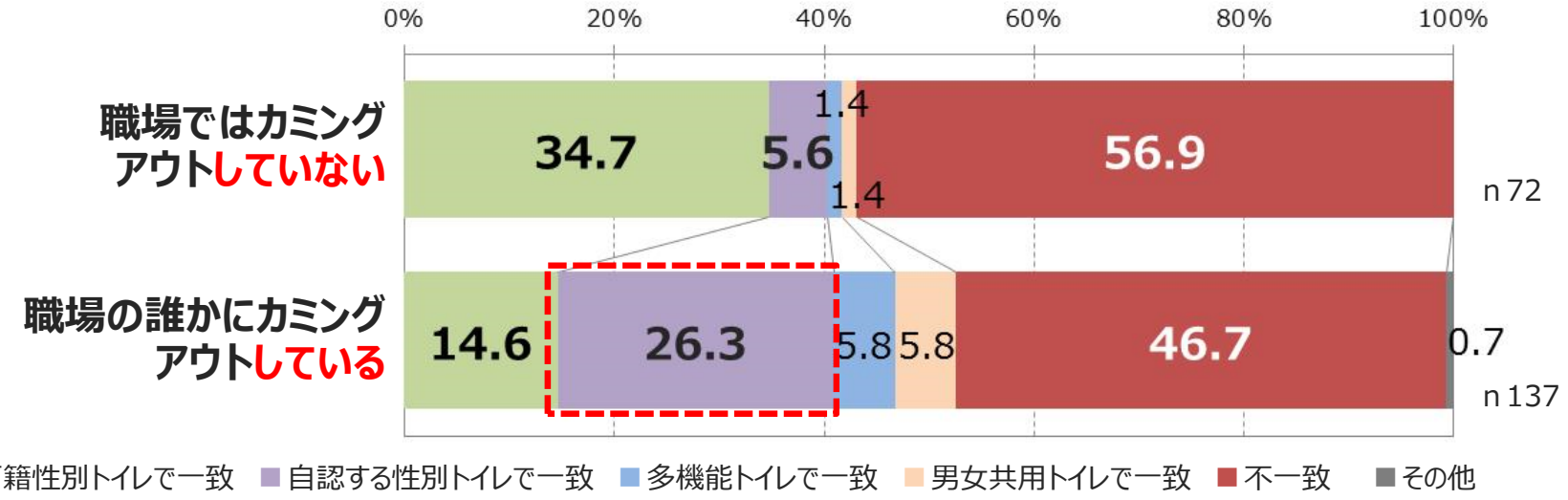
無断転載禁止　©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

オフィスで利用しているトイレの種類：希望と実態の一致度（カミングアウト状況）

- **カミングアウトしていない人の6割近くが、トイレ利用の希望と実態が「不一致」。カミングアウトしていても、半数近くが「不一致」であった。**
- **職場の誰かにカミングアウトしている場合は、3割近くが「自認する性別トイレで一致」しており、カミングアウトしていない場合よりも20ポイント以上高い。**

Q.あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？（希望）／現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？（実態）

カミングアウト状況による違い



※「一致」に関する詳細は、p23【補足：オフィスのトイレ利用 “希望”と“実態”の「一致度」凡例について】を参照

✓ カミングアウトせずに「自認する性別トイレ」を利用している人の中には、現在の職場で働き始める前に性別を移行している場合もあると考えられる。

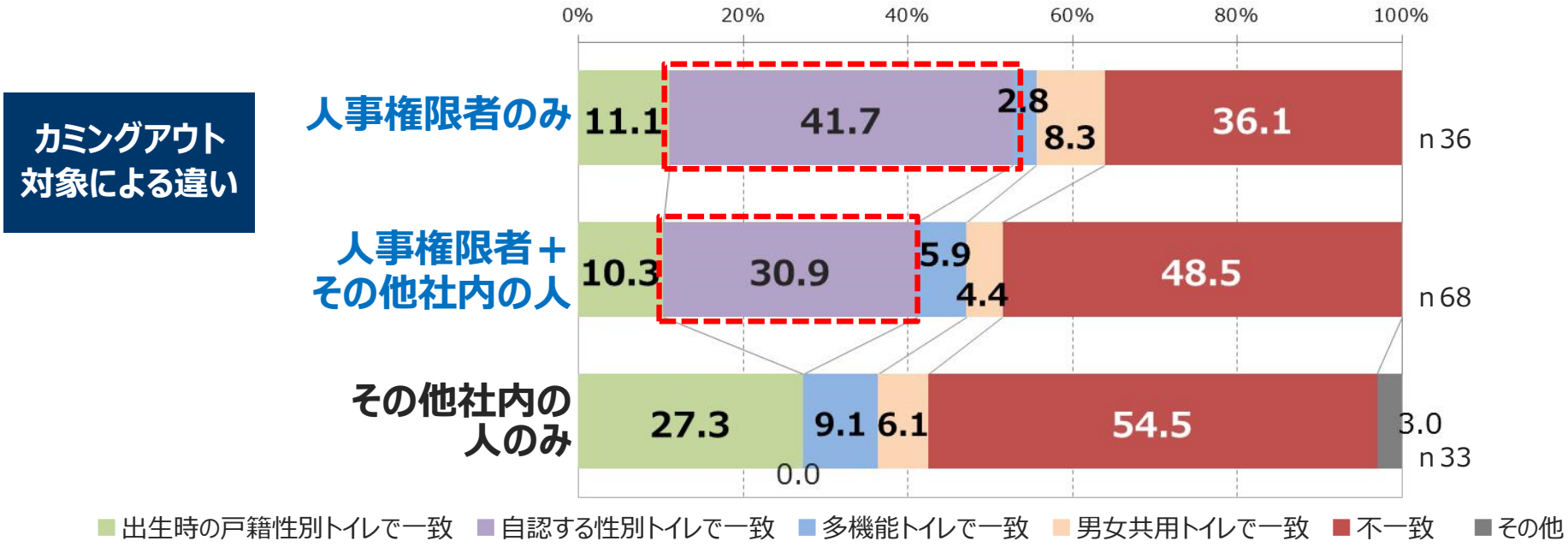
※この調査結果は、カミングアウトを推奨したり否定したりするものではありません。

無断転載禁止 ©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

オフィスで利用しているトイレの種類：希望と実態の一致度（カミングアウト対象）

- 「自認する性別のトイレ」で一致する人は、人事権限者のみにカミングアウトしている場合は約4割。さらに職場のその他の人にもカミングアウトしている場合は約3割。
- 「人事権限者」にカミングアウトして<u>いない場合</u>は、「自認する性別のトイレ」で一致する人はゼロ、過半数が“不一致”であるが、「人事権限者」にカミングアウトしていても4割近くが“不一致”であった。

Q.あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？（希望）／現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？（実態）



※人事権限者：社長、役員、人事関係者、上司 ／ その他社内の人：同僚（先輩・後輩含む）、部下、他部署の人、その他職場内で親しい人
※「一致」に関する詳細は、p23【補足：オフィスのトイレ利用 “希望”と“実態”の「一致度」凡例について】を参照

✓ カミングアウト範囲を広げることが、必ずしも利用したいトイレを利用できることに繋がっていない。回答者コメントの中には、『“その他社内の人”にもカミングアウトしたら、一部の同僚から理解を得られなかった。』という声もあった。

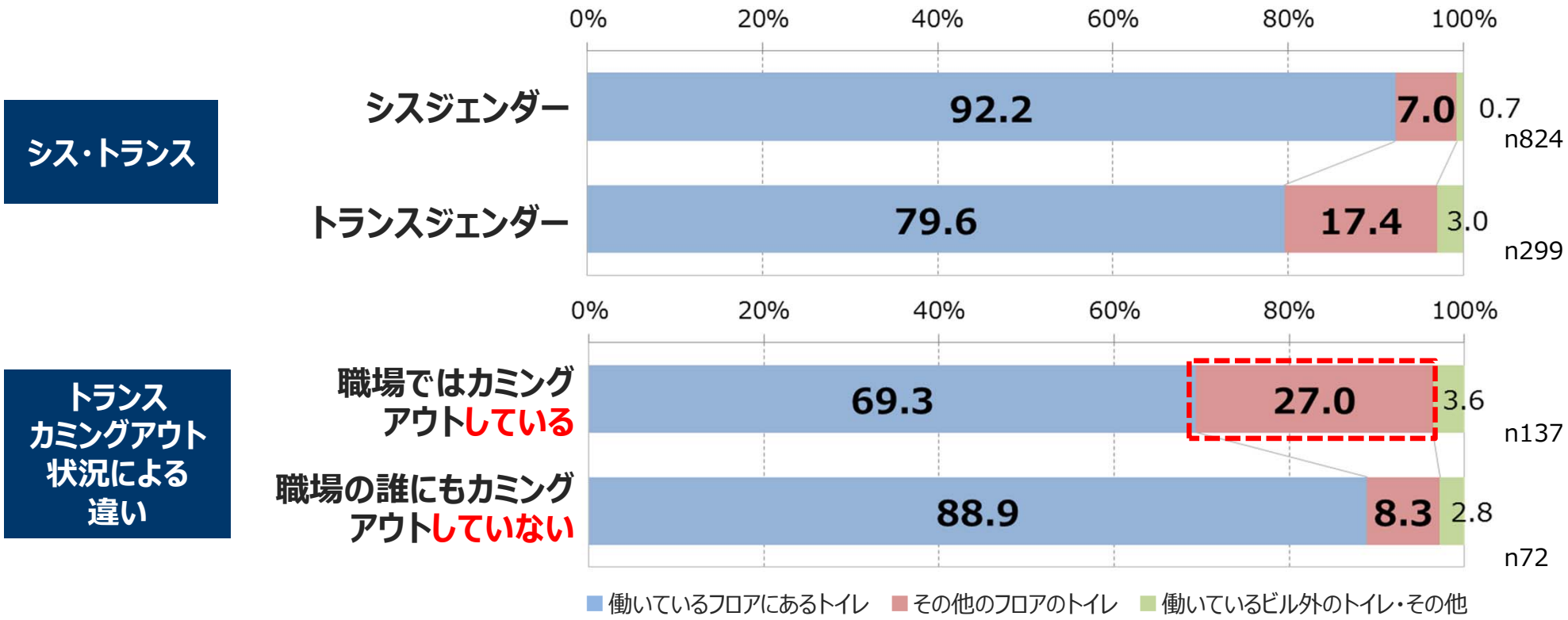
※この調査結果は、カミングアウトを推奨したり否定したりするものではありません。

KANAZAWA UNIVERSITY COMANY LIXIL
無断転載禁止 ©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

オフィスで利用しているトイレの場所（シス／トランス・カミングアウト有無）

- シス・トランスともに「働いているフロアのトイレ」が最も多いが、シスの９割に対しトランスは８割弱と10ポイント以上の差がある。
- トランスの職場でのカミングアウトの有無別でみると、カミングアウトしている人の3割近くが「その他のフロアのトイレ」を利用しており、カミングアウトしていない人よりも20ポイント近く高い。

Q.職場で働いている時、あなたはどこにあるトイレを主に利用しますか？



✓ 職場でカミングアウトしている人は、カミングアウトしていることによる周囲への気遣いや気まずさもあると考えらえれる。

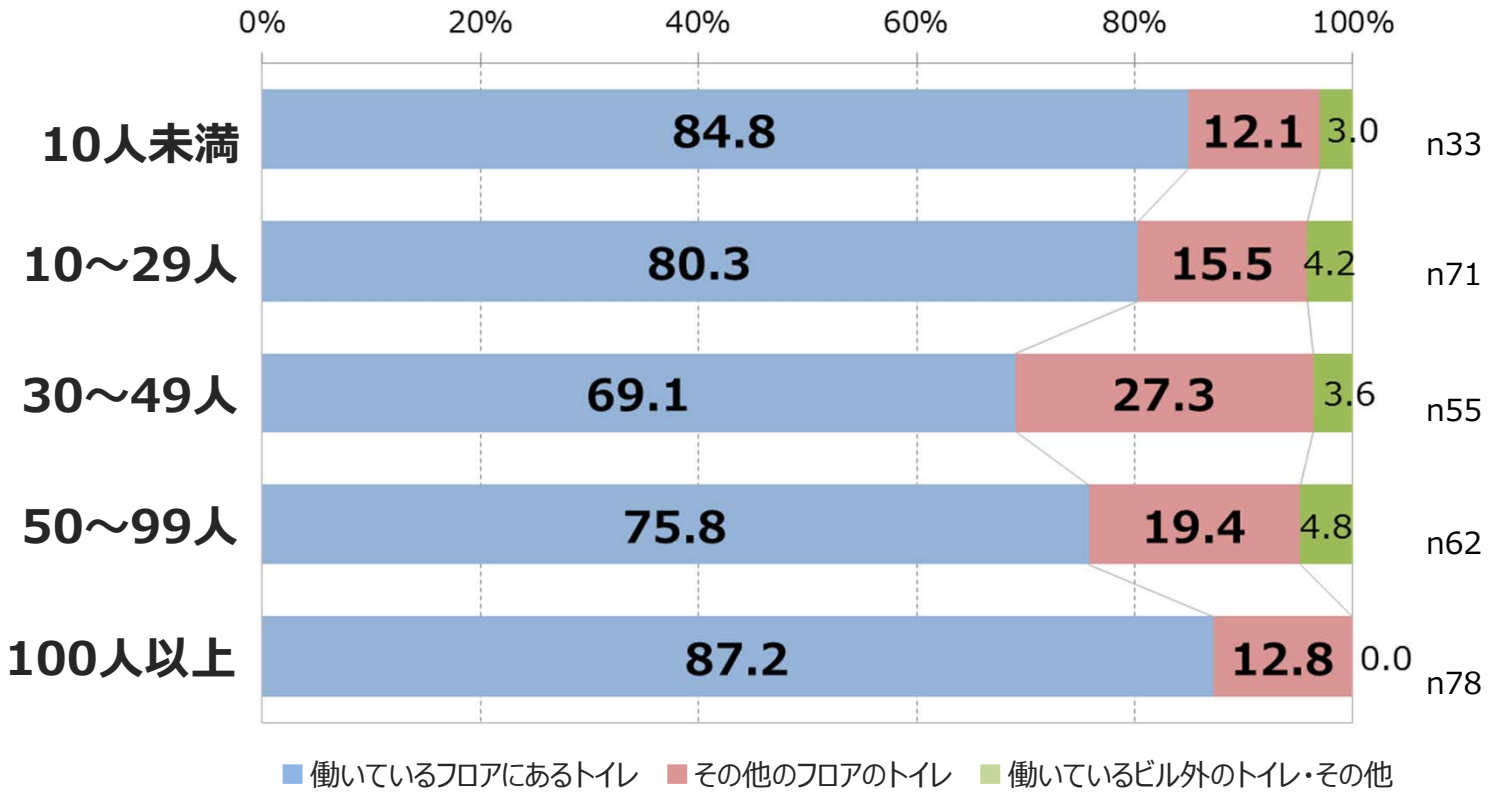
※この調査結果は、カミングアウトを推奨したり否定したりするものではありません。

無断転載禁止 ©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

オフィスで利用しているトイレの場所（トランス・働いているフロアの人数）

- 「働いているフロア以外のトイレ」を利用している人は、フロア人数30～49人で最も多く、29人以下および50人以上では減る傾向にある。
- 社外のトイレを利用する人は、100人以上ではゼロであった。

Q.職場で働いている時、あなたはどこにあるトイレを主に利用しますか？



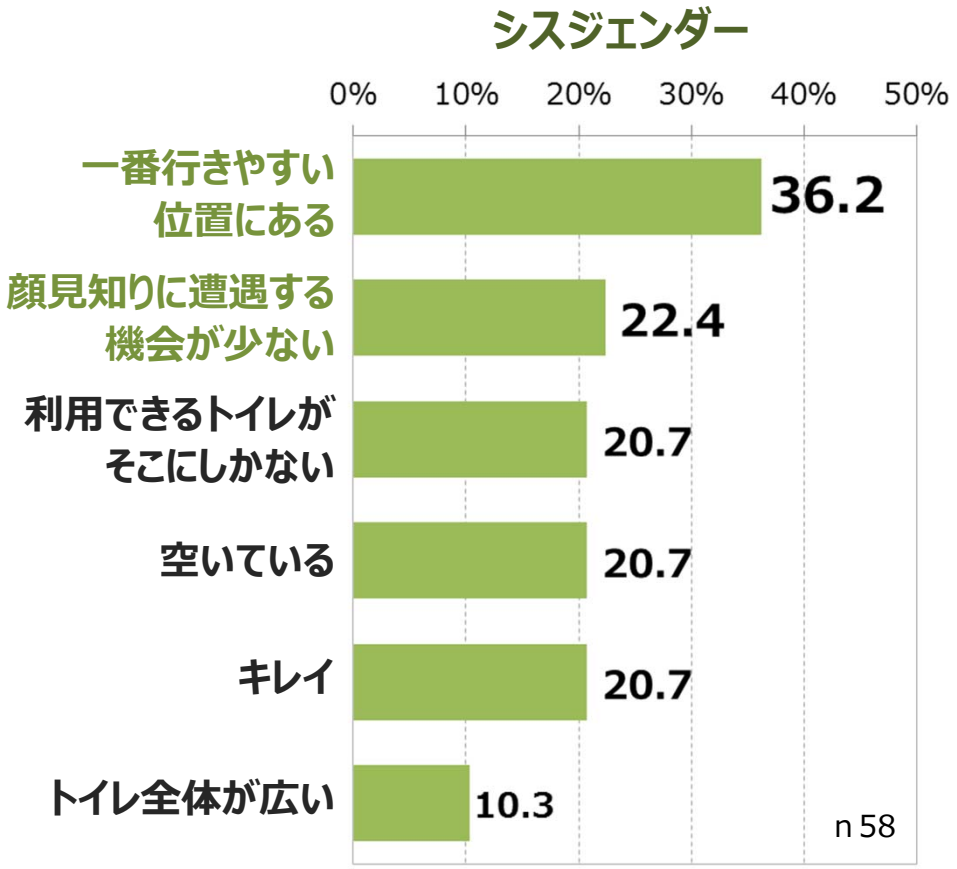
- ✓ 30～49人規模を境に、人数が少ないほどトイレの選択肢が少なくなる可能性がある（働いているフロアにしかトイレがない、など）。
- ✓ 人数が多いほど、他の人が気にならなくなる可能性がある。

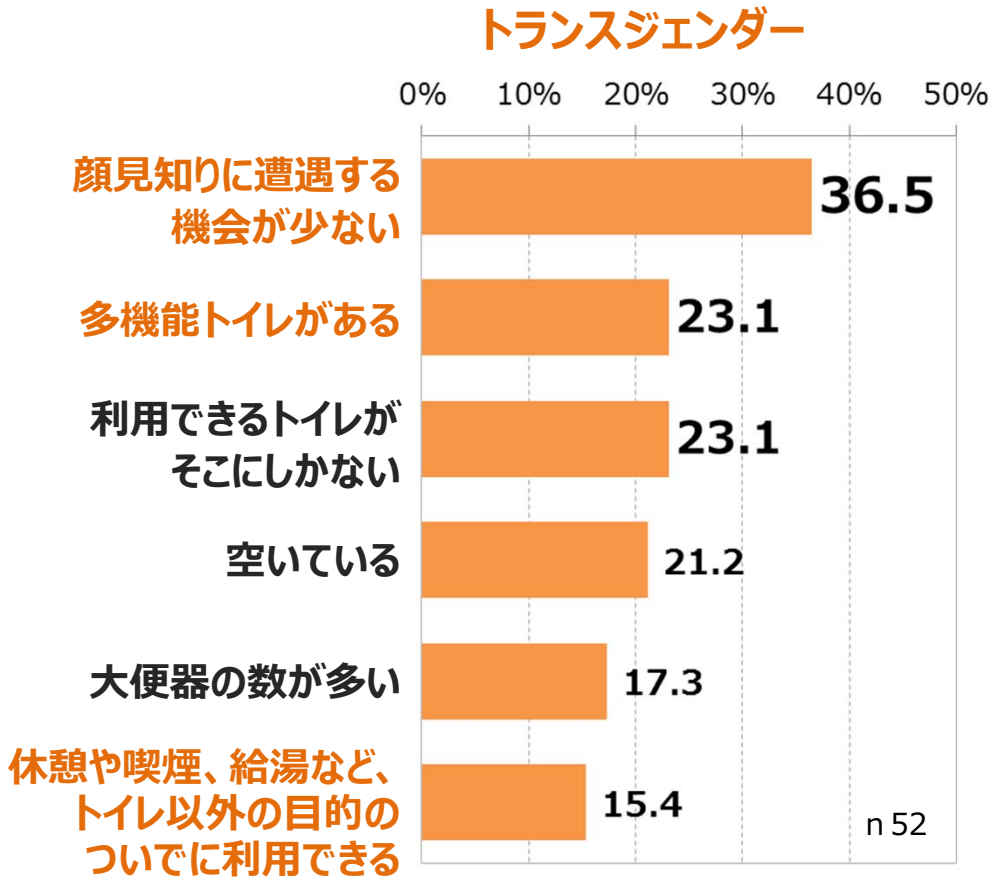
無断転載禁止 ©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018

「働いているフロア以外のトイレ」を利用する理由トップ６（シス／トランス）

- シスでは「一番行きやすい位置にある」が約4割でトップ、次いで「顔見知りに遭遇する機会が少ない」が約2割であった。
- トランスは「顔見知りに～」が約4割でトップ、次いで「多機能トイレがある」が約2割であった。また、「トイレ以外の目的のついでに利用できる」と回答した人が約15%であった。

Q.その場所にあるトイレを主に利用するのはなぜですか？（「働いているフロア以外のトイレ」を選択した人のみ。複数回答）





無断転載禁止　©オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）2018